



一般社団法人 市民連帯経済つながるかながわを設立

神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会の 役割と機能を10月から移行します



2024年7月20日横浜市情報文化センター

神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会のあゆみ

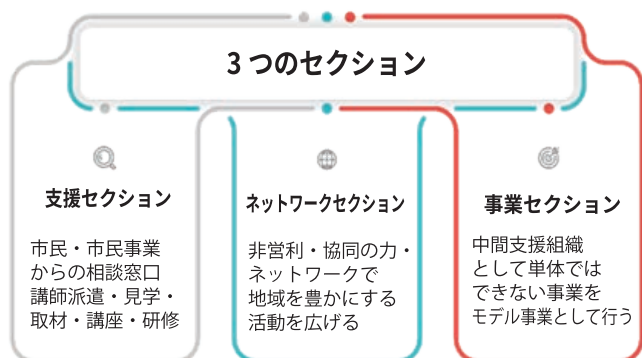
1982年、神奈川県横浜市内で、日本で第1号のワーカーズ・コレクティブが誕生して以来、時代のニーズに応える形で地域に次々と新たなワーカーズ・コレクティブが誕生しました。団体が増えるに従って、その組織運営や事業経営の問題・課題も多種多様になり、組織的に解決を図る必要が出てきたため、県下に25団体、メンバー数が968名になった1989年9月、ワーカーズ・コレクティブの問題解決と社会的認知を得ていくための条件整備や基盤づくりのために「神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会」を設立しました。

それから35年、食の共同購入や共済制度、基金などワーカーズ・コレクティブ同士の「お互い様のたすけあい」の仕組みを創り出すと共に、様々な制度政策の変更にも、連合する強みを活かして多くの専門家や団体と連携を取りながら、お互いに情報交換して乗り越えてきました。2004年にはさらなるワーカーズ・コレクティブの社会化を目指して「NPO法人ワーカーズ・コレクティブ協会」を生み出し、現在では若者の就労支援等で大きな役割を果たしています。

新たな中間支援組織設立に向けた経緯と準備

2020年労働者協同組合法が成立し、この法人格を取得し新たな連合組織設立の動きが出てきたことから、改めて運動の発展に力を結集していくことをめざして、ワーカーズ・コレクティブ運動を生み出した生活クラブ生協やワーカーズ・コレクティブ協会と協議し、新たな中間支援組織設立に向けて約3年にわたり検討をすすめました。

つながるかながわの基本機能



立教大学 藤井敦史教授



多数の来賓の方々に見守っていただきました。

ワーカーズ・コレクティブが誕生した42年前とは社会は大きく変化し、女性の社会進出は進みましたが働き方の課題はなくなったわけではありません。また、経済優先で進んできた世の中では、男女問わず格差・貧困が広がり、出生率の低下や生きづらさを抱える若者が増えています。

新たな中間支援組織設立準備会の中で、「(これらの)問題解決の本質は、自分で考え行動する人をおおぜいにすることであり、協同する場を多様に生み出し、人と人が支え合うことを価値とする社会の醸成」(設立趣意書より)であることを確認し、地域で活動する生活クラブ生協や諸団体と連携しながら、新しいワーカーズ・コレクティブやアソシエーションを多様に生み出し、「協同労働」「ワーカーズ・コレクティブ」を真ん中に置く地域社会づくりをすすめるために「一般社団法人市民連帯経済つながるかながわ(以下、つながるかながわ)」を設立することになりました。

生活クラブ生協神奈川と5つの地域生協、ワーカーズ・コレクティブ連合会、ワーカーズ・コレクティブ協会が設立発起人となり、それぞれの会員団体及び関係団体につながるかながわの設立の趣意を丁寧に説明し、加入を呼びかけました。

お互い様が息づく地域社会づくり

設立総会では、立教大学の藤井敦史教授から、「市民連帯経済つながるかながわ～これからの発展戦略を考える～」と題してご講演をいただき、今後のつながるかながわの活動に向けたエールをいただくことができました。

これまで神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会で培った相談・支援機能は引継ぎ、地域での活動はさらに豊かに行ない、お互い様が息づく地域社会を作りたいと思います。

神奈川ワーカーズ・コレクティブ福祉事業所視察研修

WNJの福祉事業会議は、6月29日に実践の場を見聞することで知識や力をもらい、自分たちの活動に活かしていくことを目的とし、神奈川の複数のワーカーズ・コレクティブを見学しました。綿密なスケジュールに基づき3施設を視察し、様々なワーカーズ・コレクティブの実践を学ぶことができました。

最初に茅ヶ崎市香川にあるワーカーズ・コレクティブたんぼひろばが運営する「たんぼはうす」のレクチャーを受け、きめ細かい子育て支援、そこから始まるサポートの幅の広さに感心し、居心地の良い趣のある一軒家を後にしました。

次は、北茅ヶ崎の「複合施設ばかばか」。ここでは、保育園、高齢者サービスのデイサービス、訪問介護、ケアマネ、移動サービス、食事のサービスといった複数のワーカーズ・コレクティブが事業を行っています。連携してお互いに支えあい、より重層的な地域サービスの担い手となっていました。設立から携わっている岡田さんの立ち上げの苦労話からも理念を大切にしたい志が伝わり、次世代に繋げていく力を感じました。



複合施設ばかばか「ばかばか保育園」



コミュニティカフェ メロディーココ



地域のホットスペース「たんぼはうす」



「たんぼはうす」玄関入口

最後は、川崎市に移動し多世代の居場所「メロディーココ」と「生活リハビリクラブ幸」を見学です。主たる介護保険事業の健全経営から多世代の居場所メロディーココを作った経緯などは、大変興味深く、事業会議内で共有し、全国のW.Coの活動のレベルアップにつなげていきたいと考えています。

現場を見て、そこで働くワーカーの皆さんのお話を聞き、参加したメンバー9名で交流できて充実した楽しい1日でした。

各事業に特化した話し合いをしています！

WNJでは福祉・個別配送受託・食の3つの業種別の会議があります。同業種で横のつながりを持ちながら、事業を行う上での共通の課題解決を探る場として定例会議を行っています。オンラインの普及により全国からメンバーが参加し、業種も形態も様々ななかで情報交換や意見交換を活発に行っています。

愛知県岡崎市にワーカーズ・コレクティブつむぎのおか誕生 安心、安全な食を通して、長く地域に愛される居場所づくりを進めていきます。

ひだまり館リニューアルオープニングセレモニー開催

7月24日、生活クラブ生協愛知・岡崎ひだまり館でリニューアルオープニングセレモニーを開催しました。組合員、地域住民、来賓（生活クラブ親生会県内他生協、岡崎市、ワーカーズ・コレクティブなど）約150人が集まりました。

コーミ生産者交流会やワークショップ（ディンプルアート）1階「Cafe つむぎのおか」では40食のミニランチ提供地場野菜や「わっぱんのパン」の販売などを行い、どれも大盛況でした。たくさんの方に知ってもらいたい良い機会となりました！

Cafe つむぎのおか について

「Cafe つむぎのおか」では生活クラブの消費材を使用した、体に優しいランチやデザートを提供しています。多世代の仲間と地域が繋がれる居場所カフェとして、ホッと安らぐ居心地のよい空間づくりを目指しています。キッズスペースもあり子育て中の方にも安心して来てもらえるようにしています。

居場所企画を開催しています

カフェ（認知症カフェ）を初めて開催しました。岡崎の地域包括支援センターの方にきていただき、介護の相談をしたり、脳トレゲームを楽しんだり、参加者同士で交流したりしていました。認知症の人やその家族だけでなく、誰でも参加できます。他にも、岡崎市の出前講座や東海労働金庫による講座、ミシンと手芸カフェ、カードゲームで遊ぼう！などを開催しています。

愛知ワーカーズ・コレクティブ連合会主催の子育てひろばを開催します

10月よりひだまり館で子育てひろば「つむぎっ子ひろば」を月1.2回開催します。地域で暮らす人のつながりをつくり、その人たちの手で暮らしを豊かにしていくことが目的です。子育て中の方に限らず、子育てがひと段落した方、子どもの見守りをしてくれる方等、誰でも参加できます。たくさんの方に参加していただきたいです！

